

基本情報



【年 齢】
22歳
【出身地】
群馬県伊勢崎市
【転出元】
群馬県伊勢崎市
【前 職】
大学生(2023年卒)

【活動時期】
2023年4月～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

ふるさとワーキングホリデーで気仙沼を訪れた際、気仙沼の人の温かさと挑戦に満ち溢れた環境に心惹かれ、移住を考えるようになりました。気仙沼に移住するなら基幹産業である水産業に関わりたと思っていたところ、気仙沼水産資源活用研究会について知りました。「気仙沼の豊かな水産資源に新たな価値を見出し、若者が帰ってきて働きたくなるような産業をつくりたい」というビジョンに魅力を感じ、気仙沼水産資源活用研究会の協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】 kesemoの事務局としてkesemo PR活動を行うと共に、水産業に関する知見を深めていきたいと考えています。

【任期後の目標】 任期後のビジョンは、明確には決まっていますが、「水産業」×「教育」によって気仙沼の魅力を地元子どもたちが再確認できる機会の提供や他地域への発信を行っていきたいです。

活動内容

●気仙沼水産資源活用研究会(kesemo)事務局

気仙沼の水産資源から新しい価値を創造するために、地元企業20社以上の知恵と想いを結集させた水産加工製品ブランド「kesemo」の事務局として活動しています。主に、各WGや役員会など会議の開催・記録を行っています。また、市内イベント等に参加し、研究会の取組紹介や開発商品のPRにも力を入れています。



●学生ボランティアとして活動

教育に関心があり、大学生の時は中学校で学生ボランティアとして活動していました。気仙沼に移住してから、教育に関わる機会はありませんが、気仙沼ESD（持続可能な開発のための教育）を中心として地域資源を積極的に活用する気仙沼の教育に魅力を感じています。そのため、任期中から市内の教育に携わる方法や機会を模索しています。

●ぬま大9期生として活動中

「気仙沼で何かやってみたい」そんな想いをもつ若者が、約半年間、「自分を知ること」と「地域とつながること」を大切にした全6回の講義を通して、自分が気仙沼で実行するプラン（＝マイプラン）をつくりあげていくプログラム「ぬま大」に参加しています。

気仙沼に移住し、水産業に関わっていく中で、「気仙沼と地元群馬をつなぐ活動がしたい」「内陸地域子どもたちが魚や海を身近に感じ、興味を持つきっかけを作りたい。」という気持ちが芽生えました。現在は、「やってみたい」を実現させるためのアクションに取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス） contact@kesemo.com

（電話番号） 気仙沼市産業部水産課内 0226-22-3435

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

気仙沼水産資源活用研究会（kesemo） <https://kesemo.com>